

ハートパル

2021年
10月
23号



政治と女性参画



ドイツのアンゲラ・メルケル首相が退任し、政界を引退します。メルケル首相は、2005 年から 16 年もの間、ドイツのみならずヨーロッパ、そして世界をけん引してきた政治家でした。メルケル首相が首脳会議などで男性の政治家の中に一人立つ姿は、世界中の女性たちに勇気と希望を与えたことは間違いありません。世界では女性の首相やリーダーが活躍しています。特に近年、ジェンダー平等が進み、政治や経済界で女性のリーダーが次々に生まれています。

一方、日本では、女性活躍と掲げてはいるものの国会議員や地方議員、首長などの女性の比率は先進国でも最低レベルです。新型コロナウイルスの影響で女性の雇用や貧困、自殺問題に対して早急解決が求められます。今だからこそ、女性の視点を生かした政治が必要です。

女性議員の比率

政治分野における女性の参画拡大は、政治に民意を反映させる観点から極めて重要です。しかし、日本は有権者の 51.7%が女性であるにもかかわらず、下表の数値が現状です。他国の状況を見ると、フランスでは 39.5%、イギリスでは 34.0%、ドイツでは 31.5%、アメリカでは 27.4%となっており、日本は国際的に見て非常に遅れています。

	女性議員割合	女性議員数/議員数
衆議院	10.2%	47/462
参議院	23.1%	56/242
都道府県議会	11.5%	303/2643
市区町村議会	14.8%	4,382/29,608

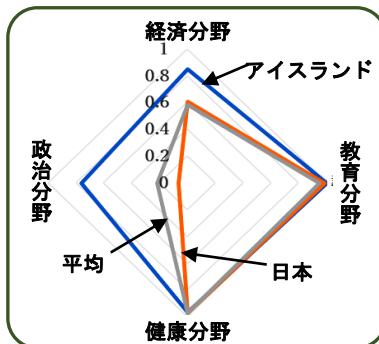
(内閣府男女共同参画局調査)

女性の政界進出が進まない理由

女性たちが政治に対してどのような意識を持っているのかを民間の機関が調査しています。身近な人と政治の話をするかについては「ある」が 16%、「ときどきある」が 46%で、合わせて 6 割を超える人がいると答えています。一方、女性の政界進出が進まない原因については、「議員活動と家庭生活の両立の難しさ」(35%)、「『政治は男性のもの』という世の中の価値観」(34%)、「女性政治家や女性政治家志望者を育てる環境の未熟さ」(33%)、「『男は外で仕事、女は家事・育児』という性別役割分担意識」(31%)という結果が出ています。女性が安心して政界に進出するためには、周囲の理解とサポート体制の充実が必要です。

ジェンダー・ギャップ(男女格差)指数 2021 年

各国の男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数の、日本の政治分野の順位は 156 か国中 147 位で、各国がジェンダー平等に向けた努力を加速している中、日本が遅れを取っていることを示しています。



(内閣府男女共同参画局 HP より)

クォータ制やパリテ法の導入について

世界では、選挙で女性の候補者に一定の数や比率を割り当てる制度「クォータ制」が進み、129 の国や地域が導入しています。またフランスでは、各政党に対して男女同数・平等な 50% ずつの候補者数を義務付ける独自の制度「パリテ法」を制定し、今では女性議員の比率も 40% まで上昇しています。

日本では平成 30 年、選挙において男女の候補者数ができる限り均等になることを基本原則とする「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が施行されましたが、なかなか進まない現状があります。

女性がトップの国々(現職)

バングラデシュ、ノルウェー、ナミビア、セルビア、ニュージーランド、アイスランド、バルバドス、デンマーク、フィンランド、ガボン、トーゴ、リトアニア、エストニア、サモア、ウガンダ、モルドバ

(在任期間の長い順)



疼くひと (松井久子著)
 古希を迎えた女性の、人生後半から燃え上がる大人の恋の物語。SNS で知り合った年下の男性との恋の行方は？
 映画監督松井久子が老年期を迎える女性たちのために書いた恋愛小説。老いと性の二つの主軸で描かれています。



誰も教えてくれなかった 子どものいない女性の生き方 (くどうみやこ著)
 子どもがいないと不幸せ？今まで語られなかった子どものいない女性の本音、最新研究もわかり、今後の生き方の指針となる本。今、女性の6人に一人以上が生涯子どものない人生を送ります。

「女性のための護身術講座」

日時：11月21日(日) 10時～12時
 場所：プラットおおむら4階 大会議室
 講師：田中健一さん
 (ジェット・クラヴマガ インストラクター)
 内容：防犯のための知識と護身術の実技指導
 定員：女性 20名 (先着順)
 締切：11月12日(金)
 持参：マスク、飲み物、汗拭きタオル、動きやすい服装と靴



☆申込みは当センターへ。
 ☆託児・手話通訳についてはご相談ください。

「女性の人権ホットライン」



夫・パートナーからの暴力、ストーカー行為、セクハラなど女性をめぐる様々な人権問題について相談を受け付けます。

(全国共通番号)
0570-070-810

日時：11月12日(金)～18日(木)

8時30分～19時

(ただし、土日は10時～17時)

期間限定

つながりサポート 3つの拠点

孤独や不安を抱える女性達がお互いの体験や思いを語り合い、支え合う場所です。必要に応じて相談機関や支援団体へつなぎます。お気軽にお立ち寄りください。



ピアサポート プリママ
 090-2195-7222
 月～土 9時～17時



プリママ おしゃべりピアカフェ開催
 毎週水・土 13時～16時



大村市東本町 2-3 福谷ビル2F

大村市母子寡婦福祉連合会 月・金
 0957-46-3286 9時～15時
 大村市本町 458-2 プラットおおむら3F

のほほん亭(個人宅) 月2回
 0957-52-7409 (第1・3土)
 大村市上諏訪町 611-1 10時～15時

男女共同参画推進センター「ハートパル」

女性のための 相談室



0957-54-8715

無料です
 秘密は守ります

- ・電話相談 ・面接相談 (できれば事前にお電話を)
- ・月曜～金曜 9時～17時 (祝・年末年始休)

☆当センターの講座・イベントに参加し右図の駐車場をご利用の場合は、無料駐車券を発行します。

【問合せ先】

大村市男女共同参画推進センター「ハートパル」

〒856-0832

大村市本町 458 番地 2 プラットおおむら 4 階 (旧浜屋ビル)

TEL: 0957-54-8715 FAX: 0957-54-8700

Eメール: danjyo-s@city.omura.nagasaki.jp

[問合せ時間] 月～金 8時30分～17時30分(祝・年末年始休)

